



	『105にんのすてきなしごと』	カーラ・カスキン // 文 マーク・シーモント // 絵 なかがわ ちひろ // 訳	あすなる書房	E/ヒ
<p>金曜日の夕方、105人の人々が向かった先はおんがくホール。 性別も年齢も違う人々が、美しい音楽をつくりあげるまでを描いた絵本です。</p>				
	『楽しいオーケストラ図鑑』	東京フィルハーモニー 交響楽団 // 監修	小学館	764/タ
<p>東京フィルハーモニー交響楽団のメンバーが、オーケストラについてやさしく教えてくれる1冊。 普段は見るできないコンサートの裏側を見ることができます。</p>				
	『ピーターとオオカミ』	セルゲイ・プロコフィエフ // 作 降矢 なな // 絵 ペテル・ウフナル // 絵 森安 淳 // 文	偕成社	E/ピ
<p>セルゲイ・プロコフィエフが作曲したオーケストラの楽曲をもとに書かれた絵本。 元の曲を聴きながら読んでいただきたい一冊です。</p>				
	『今日もピアノ・ピアノ』	有本 綾 // 作 今日 マチ子 // 絵	Gakken	F/ア
<p>6年生の海斗は、おじいさんが駅のストリートピアノで弾いていた音色が忘れられず、何度か通うことに。 様々な人と音楽と出会ううちに、自分もピアノを弾いてみたいと思うようになり……</p>				
	『ブラックバードの歌』	カチャ・バーレン // 著 千葉 茂樹 // 訳 鈴木 まもる // 画	あすなる書房	933/ベ
<p>事故で手をけがしてしまったアニーは、大好きだったフルートをうまく吹けなくなってしまいます。 音楽学校の受験をあきらめそうになったとき、不思議な少年と、2羽のブラックバードと出会います。</p>				
	『クラシック音楽への招待』 子どものための50のとびら	飯田 有抄 // 著	音楽之友社	760/イ
<p>リコーダーやピアノなどの身近な楽器から、クラシック音楽の作曲家やジャンル、踊りのことまで 音楽のさまざまな魅力を知ることができる1冊です。</p>				
	『ドレミファどうぶつコンサート』	二宮 由紀子 // 文 みやざき ひろかず // 絵	文研出版	E/ド
<p>どうぶつたちのコンサートに登場する音楽家たちが、様々な音楽を演奏してくれます。 ぜひ、おはなしに合わせて音楽をききながら楽しんでください。</p>				
	『きょうはマラカスのひ』	樋勝 朋巳 // 文・絵	福音館書店	E/キ
<p>マラカスがだいすきなクネクネさんは、お友達のパーマさんとフワフワさんとマラカスの発表会をします。 はたして、練習通りに上手にマラカスを演奏できるでしょうか。</p>				
	『ピアノ』	いせ ひでこ // 作	偕成社	E/ピ
<p>引っ越ししてきたばかりののんちゃんがトイピアノで「カノン」を弾いていたら、となりの森からも音楽が聴こえてきました。 森の中へ入っていくと、そこには古いお屋敷が……</p>				
	『おんがくねずみジェラルディン』 はじめておんがくをきいたねずみのはなし	レオ=レオニ // 作 谷川 俊太郎 // 訳	好学社	E/オ
<p>ジェラルディンが見つけた大きなチーズを切り出していくと、フルートを吹いているネズミの像が出てきました。 日が暮れると、その像はフルートを演奏しはじめます。音楽を聴いたことがなかったジェラルディンは……</p>				